

非常災害対策計画  
多機能型事業所スピカ

令和5年6月作成

施 設 名	多機能型事業所スピカ		
所 在 地	埼玉県ふじみ野市鶴ヶ舞 1-1-18 マンションオオツキ 101		
電話番号	049-257-4411	FAX 番号	049-257-4412
メールアドレス(代表)	spica@bizimo.jp		

## 1 施設の立地条件

### (1) 施設立地場所の地形等

- 多機能型事業所スピカは、川越街道 254 号線の亀久保交差点から南東に約 50m に位置し、生鮮市場 TOP 鶴ヶ舞店等の商業施設が多くある地域の一画にある施設になります。

### (2) 災害危険区域等の該当の有無

災害危険区域等	該当の有無	区域等の名称
浸水想定区域	無	
土砂災害警戒区域	無	
土砂災害特別警戒区域	無	
土石流危険渓流	無	
急傾斜地崩壊危険箇所	無	
地すべり危険箇所	無	

### (3) 予測される災害の危険性

- 火災
- 地震

## 2 災害に関する情報の入手方法

### (1) 市町村から発令される避難情報の入手方法

- 情報提供機関のウェブサイト等、ふじみ野市緊急速報メール(F メール)

### (2) 災害に関する情報の入手方法

- インターネット、情報提供機関のウェブサイト等、ふじみ野市緊急速報メール(F メール)

## 3 災害時の連絡先及び通信手段の確認

### (1) 自治体等の連絡先

- 別紙:関係機関等連絡先 参照

### (2) 職員の連絡先

- 別紙:緊急連絡網 参照

### (3) 利用者情報(家族の連絡先)

- ICT(HUG)にて管理しています。

## 4 避難を開始する時期、判断基準

- 「高齢者等避難」が発令された時

## 5 避難場所

- 火災時(デイが利用できない状況)における避難場所は、ふじみ野市鶴ヶ岡 1-3-1 「鶴ヶ丘小学校」とする。
- 地震時(デイが利用できない状況)における避難場所は、ふじみ野市鶴ヶ岡 1-3-1 「鶴ヶ丘小学校」とする。

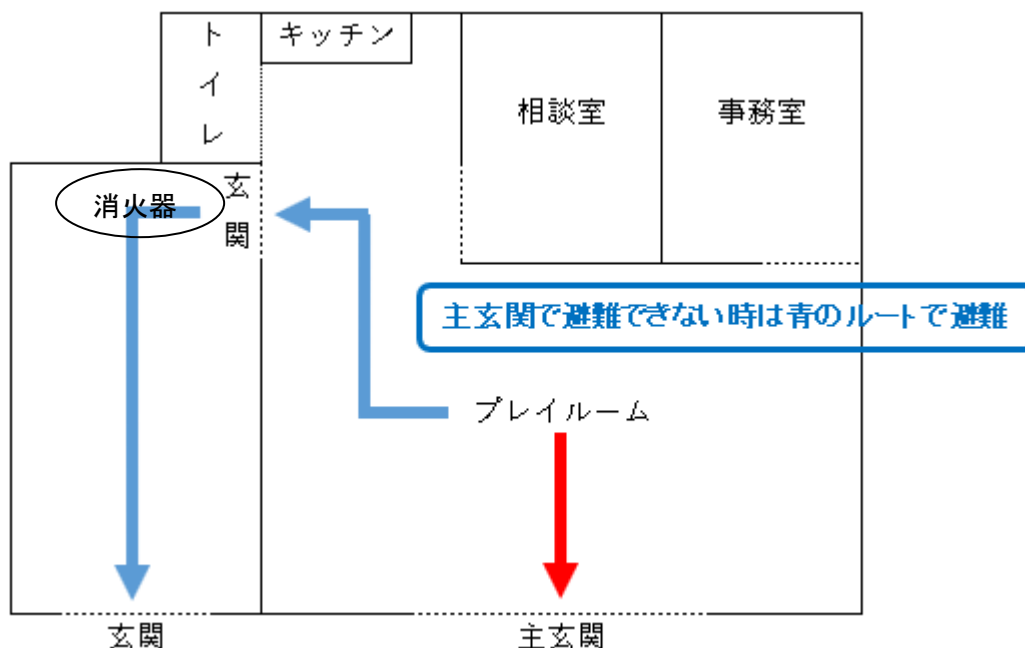
## 6 避難経路

### (1) 避難場所への避難経路

#### 鶴ヶ丘小学校 までの経路



## (2) 施設内の避難経路



## 7 避難方法

- 施設外の避難場所に誘導するときは、指導員が先頭と最後尾で児童の安全を確認し、車及び、状況によっては徒歩で避難する。
- 避難する際には、ブレーカーの遮断等を行う。ガスは未使用（設備無し）の為、元栓の閉鎖等は必要なし。

## 8 災害時の人員体制、指揮系統

### (1) 災害時の参集方法

#### 職員参集基準

参集体制	参集基準	対象職員
警戒参集体制	①地域に大雨、暴風、暴風雪、洪水警報が1以上発表されたとき ②施設所在市町村内で震度5弱の地震が発生したとき	・総括責任者及び情報収集・連絡班の班長は施設に出勤すること
非常参集体制	①地域に相当規模の災害の発生が予測され、その対策を要するとき ②地域に災害が発生し、その規模及び範囲等から早急な対策を要するとき ③施設所在市町村内で震度5強以上の地震が発生したとき ④その他、総括責任者が必要と認めるとき	・総括責任者及び各班の班長は施設に出勤すること ・その他の職員は、家族等の安全が確保され次第出勤すること

## (2) 役割分担

- 総括責任者 新田 哲男 (不在時の代行者 鈴木 純平)
- 情報連絡班班長 鈴木 純平 (不在時の代行者 新田 哲男)
- 消火班班長 金本 優希 (不在時の代行者 新田 哲男)
- 避難誘導班班長 新田 潤一 (不在時の代行者 新田 哲男)

## 9 関係機関との連携体制

- ふじみ野市危機管理防災課からの直接情報提供について合意。

## 10 食料、防災資機材等の備蓄

### 備蓄品リスト

分類	品名	数量	積算根拠	保管場所
食料等	米			
	非常食			
	ポリ容器等(生活用水)	2	3日分	施設内
医薬品等	医薬品			
	衛生器具(血圧計、体温計等)			
	衛生材料(おむつ等)			
情報機器	ラジオ			
	携帯電話(充電器を含む)	2		施設内
	無線機			
照明	懐中電灯	1		施設内
	電池	5		施設内
避難用具	タオル			
	ビニール袋			
	下着			
	簡易トイレ			

## 避難訓練の実施例

### 1 実施回数

- 1年に3回実施する。
- 毎年9月に火災避難訓練を実施する。(消火・通報訓練を含む)
- 毎年5月に地震避難訓練を実施する。(消火訓練を含む)
- 毎年1月に水害避難訓練を実施する。(職員のみ)

### 2 避難訓練の参加者

- 常勤職員、非常勤職員、利用者

### 3 想定する災害の種類

- 火災、地震、水害、土砂災害

### 4 避難場所

- |            |                |
|------------|----------------|
| (1)火災発生時   | 多機能型事業所スピカの駐車場 |
| (2)地震発生時   | 多機能型事業所スピカの駐車場 |
| (3)水害発生時   | 多機能型事業所スピカの駐車場 |
| (4)土砂災害発生時 | 多機能型事業所スピカの駐車場 |

### 5 避難場所までの避難目標時間

- |            |     |
|------------|-----|
| (1)火災の場合   | 5分  |
| (2)地震の場合   | 10分 |
| (3)水害の場合   | 5分  |
| (4)土砂災害の場合 | 5分  |

### 6 避難訓練の内容

- 避難目標時間内に迅速に避難できるかどうかの検証を行う。
- 防災マップ及び施設内の避難経路のとおり迅速に避難できるかどうかの検証を行う。
- 災害時における役割分担表のとおり迅速な対応ができるかどうかの検証を行う。
- 職員の少ない時間帯での対応を想定した訓練を実施し、迅速に避難できるかどうかの検証を行う。
- 消火器を使用した初期消火の訓練を行う。